

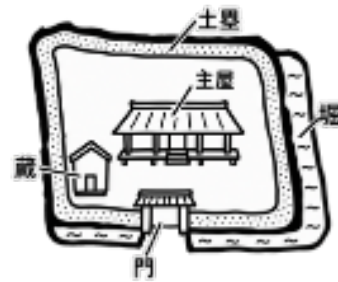
武士と民衆の暮らし

学習日 月 日

点

1 右の図を見て、あとの各問いに答えなさい。

鎌倉時代の武士は、荘園や公領の中に右の図のような住まいを構え、ふだんから馬に乗り弓を射る訓練を重ねた。この心構えは「武士の道」ともよばれ、一族は長を中心にまとまり、領地は子どもたちに分けて受けつがれた。



① 図から読み取れる武士の住まいの特徴を、「防備」の語を使って書きなさい。

()

② この心構えは「武士の道」のほかに何とよばれたか、答えなさい。

()

③ 武士の一族の長と、あとつぎ以外の子にも領地を分けて受けつがせる相続のしかたを、それぞれ答えなさい。

長 () 相続 ()

④ ③の相続について正しいものを、次から1つ選びなさい。

ア 女子にも領地が分けられた イ 長男だけが受けついだ ウ 幕府が取り上げた

()

2 次の資料を読んで、あとの各問いに答えなさい。

(資料) 荘園の領主に出された訴え

地頭が村人を人夫として使うので、材木を納める余裕がありません。残った者を山へ行かせても、逃げた農民の畑に麦をまけと言われ、追い返されてしまいます。

① 資料から読み取れる地頭の行動を、次から1つ選びなさい。

ア 農民を労役に使っていた イ 農民に土地を与えていた ウ 年貢を免除していた

()

② 農民の暮らしが苦しかった理由を、「荘園領主」「地頭」の語を使って書きなさい。

()

③ 米の裏作に麦をつくる農業と、寺社の門前などで月に3回開かれた市を、それぞれ答えなさい。

農業 () 市 ()

④ 鎌倉時代に広まった農業のくふうを、次からすべて選びなさい。

ア 牛や馬を使った耕作 イ 備中ぐわ ウ 草木の灰の肥料

()

解答

1 ① 土べいや堀を周囲にめぐらせ、防備しやすいつくりになっていた。

② 弓馬の道

③ 長惣領 相続 分割相続

④ ア

2 ① ア

② 荘園領主と地頭による二重の支配を受けていたから。

③ 農業 二毛作 市 定期市

④ ア、ウ